

目 次

2007/2008 年度（第 12 期）評議員・役員選挙の結果.....	1
2006 年度第 3 回 2007 年度第 1 回合同理事会報告.....	2
2007 年度第 2 回理事会報告.....	4
第 12 回公開講演会「中東・イスラーム世界の素顔を知る」 『イスラーム地域研究』と共催で 6 月に千葉で開催.....	5
第 23 回年次大会案内.....	6
日本中東学会年報（AJAMES）編集委員会より.....	8
学会事務局の交替について.....	9
寄贈図書.....	9
会費納入のお願い.....	10
事務局より.....	10

2007/2008 年度（第 12 期）評議員・役員選挙の結果

2007/2008 年度（第 12 期）評議員・役員選挙の結果をお知らせいたします。
評議員選挙については、2 月 14 日開票の結果、以下の 60 名が選出されました。
有権者数 413 名、投票者数 123 名（うち有効票 117、無効票 4、白票 2）投票率は 29.8%でした。

赤堀雅幸、新井政美、飯塚正人、板垣雄三、白杵陽、江川ひかり、大塚和夫、

大稔哲也、岡真理、片倉もところ、加藤博、上岡弘二、私市正年、北川誠一、栗田禎子、黒木英充、黒田卓、小杉泰、後藤明、小林春夫、小牧昌平、小松香織、小松久男、近藤信彰、酒井啓子、坂本勉、桜井啓子、佐藤次高、清水和裕、清水学、杉田英明、鈴木董、鈴木均、鷹木恵子、高橋和夫、店田廣文、田村愛理、東長靖、内藤正典、長澤栄治、中田考、永田雄三、長谷部史彦、八尾師誠、羽田正、林佳世子、林徹、福田安志、保坂修司、堀川徹、松本弘、三浦徹、宮治一雄、宮治美江子、森本一夫、山内昌之、山岸智子、山口昭彦、湯川武、吉村慎太郎 (50音順、敬称略)

評議員選挙に続き、新評議員による理事選挙が行なわれ、2月28日開票の結果、以下の13名が選出されました。なお、理事選挙にあたり、会則第9条の規定により、臼杵陽、小杉泰、小松久男、長澤栄治、三浦徹の各評議員は被選挙権を保有しないため、予め理事候補より除外されました。投票数41(うち有効票40、無効票1、白票0)、投票率は68.3%でした。

赤堀雅幸、飯塚正人、大塚和夫、大稔哲也、加藤博、私市正年、栗田禎子、黒木英充、酒井啓子、桜井啓子、羽田正、林佳世子、山岸智子 (50音順、敬称略)

2006年度第3回 2007年度第1回合同理事会報告

2007年3月27日に、第11期・第12期の引継ぎのために合同理事会を開催し、以下のことが討議・決定されました。

日時 2007年3月27日(火) 10:00~12:30

場所 早稲田大学41-31号館2階会議室

出席 (第11期) 三浦徹会長、臼杵陽、小杉泰、小松久男、長澤栄治

(第11・12期) 赤堀雅幸、飯塚正人、栗田禎子、酒井啓子

(第12期) 大稔哲也、私市正年、黒木英充、桜井啓子、山岸智子の各理事
欠席 加藤博、林佳世子(第11・12期)、大塚和夫、羽田正(第12期)の各理事

議題

1. 2006年度第2回理事会以降の報告ならびに第11期活動の総括

・三浦会長から、第11期理事会はAFMA日本大会の開催、WOCMES アンマン

大会への参加、会則改正を当初からの課題としていたが、これら課題をつつがなく実施しただけでなく、新たに日本中東学会奨励賞を設置、また公開講演会や AJAMES 出版、中東研究文献データベースの構築といった従来からの継続事業も 科研費の助成を得て滞りなく行うことができた、との活動総括があった。

- ・事務局から 2006 年度末に実施された 2007 / 2008 年度評議員・役員選挙の結果が報告された。また、5 月に迫った第 23 回年次大会・総会の準備状況について報告があった。加えて、新入会員 13 名、退会希望者 15 名(うち 3 名は 2007 年度末での退会希望)の入会・退会が理事会により承認された。

- ・AJAMES 編集委員会より、AJAMES 第 22-2 号、23-1 号の編集過程が報告された。22-2 号は英文率約 65%。12 月刊行の予定が 3 ヶ月遅れてしまったが、23-1 号の編集は順調に進んでおり、6 月刊行を目指している。なお本号より、要約とは別に巻末に英文抄録を掲載する予定。

- ・2006 年度末をもって、長澤栄治、栗田禎子、長谷部史彦の 3 委員が AJAMES 編集委員を退任し、代わって加藤博、池田美佐子両会員が編集委員に就任する(編集委員にはさらに 1 名の増員を予定)。副編集長は山口昭彦委員にお願いし、編集補佐 1 名を雇用して本年度の AJAMES 編集を進める新たな編集体制が理事会により承認された。

- ・国際交流委員会より、2006 年度に実施した AFMA 第 6 回大会、WOCMES-2 大会(3 パネル派遣) 秋の KAMES 年次大会参加に関する総括的報告があった。また三浦会長から、KAMES の次回 WOCMES 開催地への立候補に関する報告があった。KAMES からは、本学会をはじめとする AFMA 加盟諸組織に対し、サポーターングレターの作成と送付が期待されている。

- ・企画担当より、公開講演会が 2006 年度から年 2 回となり、高校の先生方の参加を得て実施されるようになったが、こうした形で進めていけば、公開講演会は今後も拡大する余地があると思われるとの総括があった。

- ・渉外担当より、3 月 2 日に開催された日本学術会議主催のシンポジウム「地域研究の最前線」を日本中東学会として後援したことが報告された。また本会が幹事学会を務めている地域研究学会連絡協議会の総会が昨年 10 月 22 日に開かれ、規約の制定などが行われたことが報告された。

2 . 第 12 期への引き継ぎ事項

- ・現状は事務局長の負担が大き過ぎるので、理事が増員された第 12 期理事会では財務担当理事のほか、副事務局長職を設置するなどして、事務局長の負担を軽減する方策を採る必要がある。

- ・第 11 期事務局は極めて多くの課題と会務を抱えていたため、ニュースレターの魅力的な編集までは十分手が回らなかった。AJAMES の英文化が進んでいること

もあり、本当はニューズレターを一般会員の意見交換の場、憩いの場とするような方向で、もっと会員に投稿を求めるべきではなかったかと反省している。第12期理事会には魅力的なニューズレターの編集・発行を考えていただきたい。

- ・AJAMES 科研の申請にあたって競争入札が義務付けられる恐れがあったが、当面、競争入札は必要ないことが学術振興会の実地調査の際に確認できた。

- ・2007年度の国際交流事業としては、秋のKAMES年次大会への参加がある。

- ・2008年度はモンゴルで第7回AFMA大会が開催されるが、モンゴルでの開催は初めてになるため、強く協力を求められている。場合によっては、招聘資金の助成を獲得するために本学会のサポートが必要になるかもしれない。

- ・地域研究学会連絡協議会の次期事務局（任期は07年12月から2年間）を本学会が引き受けるかどうかは、第12期理事会の審議に任せるが、協議会内で本学会への期待が高まっていることもあり、前向きに検討して欲しい。なお、これとは別に、渉外担当の新理事には今年8月から11月までの間、協議会事務を代行していただくことになる。

- ・新体制への移行には時間を要するので、今年5月の年次大会開催までは、基本的に旧事務局が学会事務に責任を持つ。

3. 第12期会長の選出

- ・会則第8条(1)に基づき、新理事による互選の結果、私市理事を会長に選出した。

2007年度第2回理事会報告

2007年4月8日に、第2回理事会が開催され、以下のことが討議・決定されました。

日時 2007年4月8日(日) 10:00~13:15

場所 上智大学2号館 630-a 会議室

出席 私市正年会長、赤堀雅幸、飯塚正人、大塚和夫、大稔哲也、栗田禎子、酒井啓子、桜井啓子、林佳世子、山岸智子の各理事

欠席 加藤博、黒木英充、羽田正の各理事

議題

1. 第12期事務局の選出

・2007-08 年度の事務局は上智大学アジア文化研究所にお願いし、赤堀雅幸理事が事務局長を務めることとした。

2．理事の任務分掌

・第12期理事の任務分掌を以下のように決定した。なお、必要に応じて特任の理事や委員を委嘱する。

会長：私市正年

事務局長：赤堀雅幸

AJAMES 編集委員会：林佳世子、羽田正

国際交流委員会：酒井啓子、栗田禎子

渉外：大塚和夫、大稔哲也

企画：加藤博、黒木英充、桜井啓子

ニュースレター編集：山岸智子

財務：飯塚正人

3．第12期への事務局等の引継ぎの進め方

・学会メーリングリストについては、新事務局となる上智大学で開設できない一方、これまで設置してきた東京外大 AA 研での継続運用も困難なことから、5月の年次大会までに新事務局が外部有料サイトへの移行を検討する。学会メールアドレスについても同様。

・新事務局には寄贈図書や AJAMES バックナンバーを保管するスペースがないため、外部の倉庫を賃借する。

第12回公開講演会「中東・イスラーム世界の素顔を知る」

『イスラーム地域研究』と共催で6月に千葉で開催

いわゆる「9・11 事件」やイラク戦争のためもあってか、過去数年、日本社会に住む私たちが中東あるいはイスラームをめぐる情報に触れる機会は爆発的に増えました。しかし、それによって私たちの中東・イスラーム認識が本当に深まったのかどうか、疑問も残ります。「テロ」や「戦争」との関連でのみ繰り返される報道・ニュース解説等の氾濫のなかで、逆に中東・イスラーム世界に住む人々の暮らしの実態とは乖離した、歪んだイメージが一人歩きする傾向もあるかもしれません。

「NIHU プログラム イスラーム地域研究」との共催で日本中東学会が開催するこの講演会では、人類学あるいは歴史学的手法に基づいて長年現地で研究をおこない、従来のステレオタイプにとらわれない独創的な成果を挙げてきた二人の会員の講演を通じて、イスラームとは何か、中東の社会はどのような社会なのかに関して考えたいと思います。質疑応答や討論の時間も充実させる予定ですので、ふるってご参加下さい。

日頃教育に携わるなかで中東・イスラームをどう教えるか悩んでいる高校や中学の先生方、あるいは NGO 活動等で中東と関わろうとしている方々の参加も歓迎します。
(第12回公開講演会企画担当 栗田 禎子)

日時：2007年6月30日(土)14時～18時

会場：千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館大ホール

(JR 総武線「西千葉駅」下車徒歩数分。千葉大正門を入れてすぐ。

ホームページ <http://www.chiba-u.ac.jp> の地図をご参照ください)。

プログラム(予定)

14:10~15:10 片倉もとこ(国際日本文化研究センター)

「イスラームの日常世界 人間観をめぐる」

15:20~16:20 大稔哲也(東京大学)

「カイロの庶民街から見たコプトとムスリム

ムスリム社会における他宗教の共存」

16:30~18:00 討論

第23回年次大会案内

日本中東学会第23回年次大会を下記のとおり、東北大学川内北キャンパスで、開催いたします。東北の都、仙台は次週の青葉祭りを待たずして、緑色に染まる事でしょう。

今大会ではまず、「『NIHUプログラム イスラーム地域研究』は何をめざすか」というテーマで、佐藤次高会員に日本の新しいイスラーム研究の動向について語っていただきます。また、地域研究の枠組みやパラダイムを考えるシンポジウムを組んでおります。研究発表は6セッション50件に加え、韓國中東学会からの招聘者を交えたイラン・セッションおよびパレスチナ/イスラエル・セッションを用意し、多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております!

参加の申し込みは、ニューズレター109号に同封の振替用紙で、是非事前にお

願いたしたいと存じます。

なお、正規の大会案内・プログラムは4月中旬に、大会実行委員会から別途郵送いたします。

【大会プログラム】

5月12日（土）

13:00 登録開始

14:00～15:00 講演「『NIHUプログラム イスラーム地域研究』は何をめざすか」
佐藤次高（早稲田大学）

15:00～15:10 休憩

15:10～17:10 シンポジウム「イスラームと中東研究をめぐる」
オーガナイザー：長澤栄治（東京大学）
パネリスト：羽田正（東京大学）、加藤博（一橋大学）、
酒井啓子（東京外国語大学）

17:10～17:20 休憩

17:20～18:20 総会・第1回日本中東学会奨励賞授与式

18:30～20:00 懇親会

5月13日（日） 研究発表（発表時間30分、質疑10分）

午前の部 9:30～12:25（休憩 10:50～11:05）

昼休み 12:25～13:30

午後の部 13:30～17:05（休憩 15:30～15:45）

【アクセス】

東北新幹線 大宮の次は、仙台です

東北新幹線「はやて」、秋田新幹線「こまち」に乗車されますと（共に予約が必要）大宮から約60分で仙台です。

空路

仙台空港をご利用下さい。空港とJR仙台駅間はアクセス鉄道があります。

高速バス

成田や関空、東京各地から高速バスが出ており、運賃はJR新幹線の半額程です。

【ホテル】

市内青葉区のホテルはどれも東北大学川内キャンパスから遠くありませんが、川内そのものにはホテルはありません。仙台駅周辺、青葉通り、廣瀬通りのご宿

泊をお勧めします。作並温泉、秋保温泉の宿泊も不可能ではありませんが、あまりお勧めしないことにいたします。

なお、東北大学生協同組合学会宿泊係に御相談下さっても結構です。

(トラベルコープ工学部店内) 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
電話:022-212-3961、FAX:022-223-7832、E-mail:travel-gakkai@tohoku.u-coop.or.jp

【会場迄】

仙台駅前バスプールからですと、9番乗り場(「動物公園循環青葉通・理・工学部・仙台城址南経由」、「宮教大」、「青葉台」行き)扇坂下車(新名称は、東北大学川内キャンパス)か、16番乗り場「廣瀬通り経由交通公園行き、交通公園循環」川内郵便局下車です。青葉通り・廣瀬通りの適当なバス停からも乗車できます。

日本中東学会第23回年次大会実行委員会

Tel.&Fax:022-795-7587

E-mail:kitagawa@mail.tains.tohoku.ac.jp

日本中東学会年報(AJAMES)編集委員会より

すでにお手元に届いていると思いますが、3月20日にAJAMES第22巻2号が刊行されました。少々刊行が遅れ、関係者の皆様にはご迷惑をおかけしたことをお詫びします。平成18年度には、1号、2号をあわせ、8本の論文、3つの特集などを掲載することができました。英文率は64%です。ご精読いただき、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

現在、6月刊行を目指し、23巻1号の編集作業が進んでいます。次々号(12月刊行予定)の投稿締め切りは6月20日です。論文、研究ノート、書評、博士論文要旨など、会員の皆様からの各ジャンルの投稿をお待ちしています。学会ホームページから投稿申込書をダウンロードいただき、原稿とともに編集委員会まで、郵送ならびに電子ファイルでご提出ください。

ご質問などは、ajames-editor@tufs.ac.jpにどうぞ。ご協力、よろしく願いいたします。
(AJAMES編集委員長 林 佳世子)

学会事務局の交替について

2007年度から、学会事務局は上智大学アジア文化研究所に交替し、赤堀雅幸理事が事務局長として、これを担当いたします。新事務局の連絡先は、次のとおりです。ただし、5月12・13日に開催される本年度の学会年次大会・総会までは、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の旧事務局が会務にあたりますので、ご注意ください。新事務局は5月20日頃から会務にあたる予定です。なお、AJAMES編集委員会の連絡先は変わりません。

【新事務局連絡先】

〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1

上智大学アジア文化研究所気付 日本中東学会事務局

* 電話番号、ファックス番号、e-mail アドレスは現在取得中です。

寄贈図書

【単行本】

Sous la direction de Vincent Battesti et Nicolas Puig, *Terrains d'Égypte, anthropologies contemporaines, Égypte/Monde arabe n°3*, 2006.

横田貴之著『現代エジプトにおけるイスラームと大衆運動』ナカニシヤ出版、2006.

塩尻和子監修、青柳かおる著『学校で教えない教科書 面白いほどよくわかるイスラーム』日本文芸社、2007.

山内乾史編著『開発と教育協力の社会学』ミネルヴァ書房、2007.

【逐次刊行物】

『アジア太平洋フォーラム・淡路会議 2006』アジア太平洋フォーラム・淡路会議、2006.

『アラブ・イスラーム研究』第5号、関西アラブ研究会、2006.

David R. Whitesell, First Supplement to James E. Walsh's *Catalogue of the Fifteenth-Century Printed Books in the Harvard University Library*, *Harvard Library Bulletin*, Vol. 16, No. 1-2; September 2006.

Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies Newsletter, Vol. 4 (2006 January), Vol.5 (2006 March), Ritsumeikan Asia Pacific University, 2006.

Newsletter, No.71, Istanbul: O. I. C. Research Center for Islamic History, Art and Culture, September-December 2006.

CAWW News, The Center for the Advancement of Working Women (CAWW), Vol.12; March 2007.

『季刊アラブ』 Vol.120、日本アラブ協会、2007 .

『平成 18 年度考古学が語る古代オリエント 第 14 回西アジア発掘調査報告会報告集』日本西アジア考古学会、2007.

会費納入のお願い

本会は会費前納制をとっております。新年度を迎えましたので、会員の皆さまには 2008 年度分の会費納入をお願い申し上げます。昨年度の年次総会で会費の改正が承認され、2008 年度分からは新会費が適用されます。新会費は正会員 10,000 円、学生会員 5,000 円となっておりますので、お間違いのなきようご注意ください。本号ニュースレターに郵便振替用紙を同封させていただきますので、ご利用いただければ幸いです。

なお、2007 年度以前の会費を未納の方はどうかお早めにお支払いください。未納分の払込確認後、当該年度の AJAMES をお送りいたします。2007 年度分までの会費は正会員 8,000 円、学生会員 4,000 円です。

事務局より

AA 研が学会事務局をお引き受けしてはや 2 年。いよいよ次期事務局にバトンタッチする日が近づいて参りました。この間、事務局の宇野陽子さん(学生会員)、倉茂由美子さんには言葉に尽くせないほど、お世話になりました。第 11 期は AFMA 日本大会や 4 年に一度の WOCMES 大会など、国際交流事業を中心に事務局も多忙を極めましたが、お二人のご尽力でなんとか乗り切ることができました。お二人にはあらためて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

- ・ご報告が遅れましたが、第 22 回年次大会の終了後、(株)雄松堂書店様から大会実行委員会に 5,000 円の寄付がございました。また、予め確保しておりました会場使用料の振込手数料が 105 円で済んだため、315 円の収入増となりました。結果、昨年度より特別会計とした「年次大会基金」は 2006 年度末現在 454,611 円となっています。
- ・例年通り、年次大会の開催に合わせて、平成19年度日本中東学会総会を開催いたします。総会は年に一度の会員による最高意思決定の場ですので、万障お繰り合わせのうえご出席ください。同封のはがきにて5月7日(月)までにご出欠をお知らせいただければ幸いです。ご欠席の場合は、委任状をお願いいたします。
- ・本号ニューズレターの「会員の異動」欄は新入会員と退会者の告知のみに留めました。所属先変更・住所変更等の情報につきましては、年次大会開催に合わせて発行される2007年度会員名簿をご覧ください。

(飯塚 正人)

日本中東学会ニューズレター 第 110 号

発行日 2007 年 4 月 18 日
発行所 日本中東学会事務局
印刷所 東洋出版印刷

日本中東学会事務局

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
飯塚正人研究室気付
TEL & FAX 042-330-5543
E メール : james@aa.tufs.ac.jp
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/index.html>
郵便振替口座 : 00140-0-161096
銀行口座 : 三井住友銀行渋谷支店
普通 No. 5346808